

## 第2章 病気の予防と療養支援

### 第1 生活習慣病予防

本格的な高齢化社会を迎える中で、壮年期からの疾病予防、健康づくりは、区の重要な施策の一つとして区民の健康づくりに役立っている。この施策を推進するため、各種健診等を実施している。

#### 1 健康診査

平成20年度より特定健康診査・特定保健指導の実施が各医療保険者に義務付けられた。区では地区医師会に委託して、40歳以上の国民健康保険、後期高齢者医療制度加入者及び生活保護受給者等に健康診査を実施した。

検査項目は問診、理学的検査、血圧測定、尿検査、肝機能検査、コレステロール、腎機能検査、医師の判断により貧血検査、心電図、眼底検査、血清尿酸・クレアチニン、胸部X線検査などを実施した。

#### (1) 特定健康診査

	国民健康保険加入者	受診者 (受診率)	保健指導 該当者 (再掲)	内訳	
				積極的支援	動機付け支援
合計	令和元年度	11,464(44.9%)	1,158	301	857
	令和2年度	10,057(39.8%)	988	239	749
	令和3年度	10,638(43.0%)	1,078	290	788
	令和4年度	10,140(43.5%)	992	262	730
	令和5年度	9,936(44.2%)	995	269	726
	40～44歳	564	76	36	40
	45～49歳	725	103	39	64
	50～54歳	856	131	69	62
	55～59歳	974	110	57	53
	60～64歳	1,314	137	68	69
	65～69歳	2,160	191		191
	70～74歳	3,343	247		247
	合計	3,874	659	215	444
男	40～44歳	235	58	31	27
	45～49歳	294	74	35	39
	50～54歳	361	91	56	35
	55～59歳	395	82	46	36
	60～64歳	504	89	47	42
	65～69歳	825	111		111
	70～74歳	1,260	154		154
	合計	6,062	336	54	282
女	40～44歳	329	18	5	13
	45～49歳	431	29	4	25
	50～54歳	495	40	13	27
	55～59歳	579	28	11	17
	60～64歳	810	48	21	27
	65～69歳	1,335	80		80
	70～74歳	2,083	93		93
	合計	6,062	336	54	282

※受診率は、特定健診等データ管理システムから取得した値を引用

※令和5年度受診率は令和6年4月時点の暫定値

#### (2) 後期高齢者医療健康診査

	後期高齢者 医療制度加入者	受診者
合計	令和元年度	10,343
	令和2年度	9,829
	令和3年度	9,823
	令和4年度	10,011
	令和5年度	10,332
	65～74歳(障害認定)	12
	75～79歳	3,479
	80～84歳	3,389
	85～89歳	2,206
	90～94歳	976
	95～99歳	233
	100歳～	37
	合計	3,838
男	65～74歳(障害認定)	7
	75～79歳	1,431
	80～84歳	1,282
	85～89歳	724
	90～94歳	325
	95～99歳	61
	100歳～	8
	合計	6,494
女	65～74歳(障害認定)	5
	75～79歳	2,048
	80～84歳	2,107
	85～89歳	1,482
	90～94歳	651
	95～99歳	172
	100歳～	29
	合計	6,494

(3) 健康増進法による健康診査

		受診者 合計 (①+②+③)	健康保険 切替 ①	該当年度中 75歳 ②	生活保護 受給者 ③	保健指導 該当者 (生活保護受 給者のみ) (再掲)	内訳	
							積極的支援	動機付け支援
合計	令和元年度	1,043	123	566	354	58	32	26
	令和2年度	903	83	464	356	62	34	28
	令和3年度	1,229	125	740	364	59	35	24
	令和4年度	1,473	170	924	379	68	34	34
	令和5年度	1,324	126	816	382	75	46	29
	40～44歳	25	13	-	12	-	-	-
	45～49歳	37	15	-	22	11	8	3
	50～54歳	51	18	-	33	18	17	1
	55～59歳	57	25	-	32	16	9	7
	60～64歳	53	16	-	37	19	12	7
65～69歳	61	25	-	36	2		2	
70～74歳	60	10	-	50	9		9	
75歳以上	980	4	816	160	-			
男	総計	605	43	355	207	57	36	21
	40～44歳	15	7	-	8	-	-	-
	45～49歳	15	3	-	12	8	6	2
	50～54歳	24	7	-	17	11	10	1
	55～59歳	29	7	-	22	13	9	4
	60～64歳	33	5	-	28	16	11	5
	65～69歳	31	9	-	22	2		2
	70～74歳	33	3	-	30	7		7
75歳以上	425	2	355	68	-			
女	総計	719	83	461	175	18	10	8
	40～44歳	10	6	-	4	-	-	-
	45～49歳	22	12	-	10	3	2	1
	50～54歳	27	11	-	16	7	7	-
	55～59歳	28	18	-	10	3	-	3
	60～64歳	20	11	-	9	3	1	2
	65～69歳	30	16	-	14	-		-
	70～74歳	27	7	-	20	2		2
75歳以上	555	2	461	92	-			

## 2 肝炎ウイルス検査

肝炎ウイルスを早期発見し、肝炎等による健康障害を回避することを目的として、過去未受診者等に対して肝炎ウイルス検査を実施した。(平成 14 年度事業開始)

	受診者数	うち陽性者数
令和元年度実施人数	987	
C型肝炎検査	986	1
B型肝炎検査	982	6
令和2年度実施人数	848	
C型肝炎検査	846	1
B型肝炎検査	846	5
令和3年度実施人数	672	
C型肝炎検査	671	1
B型肝炎検査	670	4
令和4年度実施人数	644	
C型肝炎検査	642	-
B型肝炎検査	640	4
令和5年度実施人数	620	
C型肝炎検査	617	-
B型肝炎検査	615	1

## 3 若年層向け健康増進事業

若年世代へ健康を見つめ直すきっかけを提供し、健康意識を向上させるため、平成 29 年度から令和元年度まで、年度末年齢が 39 歳となる区民に対し、生活習慣に起因する病気やリスク、区の健診（検診）事業に関する情報を掲載したパンフレットを送付していた。

当事業について、令和 2 年度から、年度末年齢が 39 歳となる区民に対し、40 歳から受診できる区健診（検診）の利用を促すため、区健診（検診）情報のみを簡潔に掲載した、圧着はがきの送付を開始した。

## 4 受動喫煙等による健康被害の防止

### (1) 受動喫煙防止対策事業

受動喫煙が疑われる状況が報告された際は、現場の状況を確認のうえ、区内飲食店等に受動喫煙防止対策についての助言・指導を個別に行った。

また、法や条例に基づく、受動喫煙防止への理解促進を図るため、チラシの配布やポスターの掲示を行い普及啓発に取り組んだ。

### (2) 禁煙外来治療費助成事業

区民の禁煙に向けた取組を支援することで、がん等の生活習慣病予防を推進し区民の健康の維持及び増進を図るため、区民の禁煙治療にかかる費用の一部を助成する禁煙外来治療費助成事業を実施した。

	助成件数
令和元年度	17
令和2年度	21
令和3年度	18
令和4年度	4
令和5年度	11

## 第2 がん対策

がんは死因の第1位で主要死因別死亡率の3割近くを占めるため、がんに関する正しい知識の普及啓発、国の指針に基づく科学的根拠のある効果的な検診の実施と受診率の向上を図っている。また、がんになっても安心して地域生活を送ることができるよう、がん患者や家族に対する相談や情報提供を行っている。

### 1 がん知識の普及啓発事業

がんに関する正しい知識と理解を促すために、区民に対し普及啓発事業を実施した。

内容	令和5年度実績
Women's Health in Bunkyo ～わたしたちの健康を考えよう～	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月の女性の健康週間で女性の健康に関するイベントを開催し、女性特有のがんについて掲示</li> <li>来場人数 304名</li> </ul>
小児がんの子どもたちの絵画展	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月の国際小児がんデーにあわせて、小児がん当事者の子どもたちが描いた絵画を展示</li> <li>来場人数 243名</li> </ul>
ピンクリボンキャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月の乳がん月間に合わせて、区内4か所の銭湯で「ピンクリボンの湯」、区内1か所の銭湯で「ミニ講話」を実施</li> <li>啓発動画の放映、ポスターチラシ掲示・配架</li> </ul>

### 2 がん検診

#### (1) 乳がん検診

検診機関に委託して、40歳以上の偶数年齢の女性の区民を対象に実施した。(平成8年度事業開始。平成16年度からマンモグラフィを導入。女性特有のがん検診推進事業に基づく乳がん検診受診者も含む)

	受診者数	受診率 (%)	要精検数	精検受診	精検未受診	精検受診不明 (未把握)	精検受診者診断結果				
							異常なし	がん	疑い	乳がん以外の疾患	精検結果未確定
令和元年度	7,376	27.8	488	282	2	204	87	12	12	142	29
令和2年度	7,214	35.9	421	322	8	87	104	13	10	160	35
令和3年度	8,290	37.7	712	475	-	237	139	24	28	284	-
令和4年度	7,904	39.1	615	463	-	152	123	24	22	294	-
令和5年度	8,238	38.6	559	374	-	185	138	18	11	207	-
40～44歳	1,723		119	86	-	33	22	1	2	61	-
45～49歳	1,114		95	59	-	36	23	3	-	33	-
50～54歳	1,342		97	59	-	38	20	4	2	33	-
55～59歳	899		45	29	-	16	11	2	1	15	-
60～64歳	982		56	35	-	21	14	2	-	19	-
65～69歳	602		38	31	-	7	12	1	1	17	-
70～74歳	807		49	33	-	16	17	2	-	14	-
75～79歳	387		30	22	-	8	7	2	2	11	-
80歳以上	382		30	20	-	10	12	1	3	4	-

※令和5年度の精検受診者診断結果は、6月報告分まで集計

(2) 子宮がん検診

地区医師会に委託して、20歳以上の偶数年齢の女性の区民を対象に実施した。(昭和50年度以前事業開始)(女性特有のがん検診推進事業に基づく子宮がん検診受診者も含む。)

	受診者数	受診率 (%)	要精検数	精検受診	精検未受診	精検受診不明 (未把握)	精検受診者診断結果				
							異常なし	がん	疑い	子宮がん以外の疾患	精検結果未確定
令和元年度	11,119 (583)	28.9	283 (17)	219 (11)	4 (-)	60 (6)	14 (6)	2 (2)	55 (1)	56 (2)	92 (-)
令和2年度	11,430 (599)	38.6	326 (41)	261 (16)	7 (2)	58 (23)	5 (-)	5 (3)	194 (1)	19 (7)	38 (5)

※ ( ) は体部細胞診受診数

令和3年度実績報告より、厚生労働省の「地域保健・健康増進事業報告」の様式に一部合わせた形の結果集計表に変更した。

	受診者数	受診率 (%)	要精検数	精検受診	精検未受診	精検受診不明 (未把握)	精検受診者診断結果			
							異常認めず	子宮頸がんであった者 (転移性を含まない)	子宮頸がんの疑いのある者 又は未確定	子宮頸がん以外の疾患であった者 (AIS・CIN及び転移性の子宮頸がんを含む)
令和3年度	12,060 (722)	40.2	354	245	3	106	28	1	68	148
令和4年度	11,715 (847)	41.1	308	212	2	94	29	1	60	122
令和5年度	11,711 (799)	40.1	270	156	2	112	18	1	52	85
20～24歳	537 (4)		31	16	-	15	-	-	4	12
25～29歳	890 (20)		28	11	-	17	1	1	3	6
30～34歳	1,396 (57)		53	39	-	14	5	-	13	21
35～39歳	1,062 (55)		33	23	-	10	2	-	10	11
40～44歳	1,530 (127)		46	24	1	21	3	-	10	11
45～49歳	1,124 (166)		20	13	-	7	2	-	3	8
50～54歳	1,390 (202)		29	12	1	16	2	-	5	5
55～59歳	876 (69)		8	4	-	4	1	-	-	3
60～64歳	949 (50)		11	7	-	4	1	-	3	3
65～69歳	563 (19)		4	3	-	1	1	-	1	1
70～74歳	742 (20)		4	2	-	2	-	-	-	2
75～79歳	332 (7)		3	2	-	1	-	-	-	2
80歳以上	320 (3)		-	-	-	-	-	-	-	-

※ ( ) は体部細胞診受診数

(3) 胃がん検診

地区医師会に委託して、40歳以上の区民を対象に胃部エックス線検査を（昭和50年度以前事業開始）、50歳以上の偶数年齢の区民を対象に胃内視鏡検査を（平成29年度事業開始）実施した。

①胃部エックス線検査

	受診者数 (1) = (2)+(3) +(4)	受診率 (%) (1)/対象 人口	異常 なし (2)	要精密 検査 (3)	経過 観察 (4)	精検 受診者	精検受診者診断結果					
							異常 認めず	胃がんで あった者 (転移性を 含まない)	胃がんの 疑いのあ る者又は 未確定	胃がん以外 の胃部の疾 患であった 者(転移性の 胃がんを含む)	胃部以外 の疾患(食 道がん、十 二指腸が ん等)	
令和元年度	2,901	4.1	1,899	194	808	83	36	2	2	43	-	
令和2年度	2,290	3.6	1,475	115	700	54	37	1	3	11	2	
令和3年度	2,333	3.6	1,450	121	762	49	34	-	-	12	3	
令和4年度	2,243	3.4	1,340	102	801	52	37	-	2	10	3	
令和5年度	2,193	3.3	1,316	75	802	31	22	-	-	6	3	
計	男	899	2.9	601	47	251	16	12	-	-	2	2
	女	1,294	3.5	715	28	551	15	10	-	-	4	1
40～44歳	男	122		94	2	26	1	1	-	-	-	-
	女	198		125	5	68	3	3	-	-	-	-
45～49歳	男	159		115	2	42	1	1	-	-	-	-
	女	235		127	1	107	1	1	-	-	-	-
50～54歳	男	87		67	3	17	2	2	-	-	-	-
	女	181		97	3	81	1	1	-	-	-	-
55～59歳	男	73		45	4	24	-	-	-	-	-	-
	女	132		78	2	52	2	-	-	-	2	-
60～64歳	男	70		51	4	15	1	1	-	-	-	-
	女	148		69	3	76	1	1	-	-	-	-
65～69歳	男	99		52	7	40	2	1	-	-	1	-
	女	119		57	5	57	3	1	-	-	2	-
70～74歳	男	119		64	8	47	2	2	-	-	-	-
	女	124		64	1	59	-	-	-	-	-	-
75～79歳	男	101		61	9	31	4	2	-	-	1	1
	女	82		52	2	28	2	1	-	-	-	1
80歳以上	男	69		52	8	9	3	2	-	-	-	1
	女	75		46	6	23	2	2	-	-	-	-

※令和5年度の精検受診者診断結果は、6月報告分まで集計

②胃内視鏡検査

	受診者数	受診率 (%)	胃内視鏡検診結果				精検受診者	精検受診者診断結果					
			胃がんなし	胃がん疑い	胃がんあり	胃がん以外の悪性病変		異常認めず	胃がんであった者(転移性を含まない)	胃がんの疑いのある者又は未確定	胃がん以外の胃部の疾患であった者(転移性の胃がんを含む)	胃部以外の疾患(食道がん、十二指腸がん等)	
令和元年度	7,644	31.4	7,315	262	12	55	332	227	16	7	82	-	
令和2年度	7,047	33.8	6,794	175	18	60	344	280	28	6	18	12	
令和3年度	8,190	34.5	7,865	258	10	57	373	304	17	9	30	13	
令和4年度	7,863	34.0	7,583	191	20	69	340	269	26	10	12	23	
令和5年度	7,881	32.9	7,610	193	10	68	277	216	19	5	25	12	
計	男	3,481	32.4	3,335	97	6	43	141	99	14	3	16	9
	女	4,400	33.3	4,275	96	4	25	136	117	5	2	9	3
50～54歳	男	451		441	6	1	3	8	6	1	-	-	1
	女	778		771	7	-	-	10	8	-	-	2	-
55～59歳	男	367		361	3	-	3	5	4	-	-	-	1
	女	596		581	13	-	2	15	13	-	1	1	-
60～64歳	男	583		563	12	1	7	22	18	-	1	2	1
	女	745		721	16	-	8	23	20	1	-	-	2
65～69歳	男	427		412	10	-	5	20	15	-	-	4	1
	女	479		466	8	1	4	14	13	1	-	-	-
70～74歳	男	646		611	18	2	15	36	24	3	2	3	4
	女	719		701	14	-	4	23	20	1	-	2	-
75～79歳	男	455		433	15	1	6	18	12	2	-	3	1
	女	464		443	16	2	3	25	21	1	1	1	1
80歳以上	男	552		514	33	1	4	32	20	8	-	4	-
	女	619		592	22	1	4	26	22	1	-	3	-

※対象者は偶数年齢になる50歳以上の者

※受診間隔は2年に1回

※令和5年度の精検受診者診断結果は、6月報告分まで集計

(4) 大腸がん検診

地区医師会に委託して、免疫便潜血検査(2日法)による検診を、40歳以上の区民を対象に実施した。(平成元年度事業開始)

		受診者数 (1)= (2)+(3)	受診率 (%) (1)/対象 人口	異常 なし (2)	再検査・ 要精検者数 (3)	精検 受診者	精検受診者診断結果				
							異常 認めず	大腸がん であった 者(転移 性を含ま ない)	大腸がん の疑いの ある者又 は未確定	腺腫・ポ リープの あった者	大腸がん及 び腺腫・ポ リープ以外 の疾患であ った者(転 移性の大腸 がんを含む)
令和元年度		19,645	26.3	17,932	1,713	441	132	30	6	244	29
令和2年度		18,469	27.2	16,983	1,486	500	160	39	11	258	32
令和3年度		19,052	27.8	17,589	1,463	431	163	31	5	209	23
令和4年度		18,816	26.6	17,459	1,357	391	143	24	6	199	19
令和5年度		18,841	26.4	17,439	1,402	397	128	33	8	212	16
計	男	7,055	21.6	6,422	633	179	40	15	2	112	10
	女	11,786	30.3	11,017	769	218	88	18	6	100	6
40～44歳	男	335		319	16	5	4	-	-	1	-
	女	579		542	37	8	6	-	-	2	-
45～49歳	男	437		416	21	5	2	-	-	3	-
	女	724		685	39	9	8	-	-	1	-
50～54歳	男	429		402	27	8	3	-	-	5	-
	女	767		733	34	7	2	-	2	2	1
55～59歳	男	456		432	24	8	2	-	-	6	-
	女	775		742	33	6	2	-	-	4	-
60～64歳	男	530		495	35	11	-	1	-	9	1
	女	945		908	37	9	1	-	-	8	-
65～69歳	男	765		702	63	23	5	2	-	16	-
	女	1,305		1,245	60	26	9	-	2	15	-
70～74歳	男	1,096		995	101	29	5	2	-	21	1
	女	1,829		1,728	101	40	17	6	1	15	1
75～79歳	男	1,398		1,256	142	40	9	6	-	24	1
	女	1,976		1,852	124	44	17	4	-	22	1
80歳以上	男	1,609		1,405	204	50	10	4	2	27	7
	女	2,886		2,582	304	69	26	8	1	31	3

※令和5年度の精検受診者診断結果は、6月報告分まで集計



(5) 肺がん検診

地区医師会に委託して、40歳以上の区民を対象に実施した。(令和元年度事業開始)

	胸部エックス線検査					精検受診者	精検受診者診断結果			
	受診者数 (1) =(2)+(3)	受診率 (%) (1)/ 対象人口	喀痰細胞診受診者	精密検査不要 (2)	要精密検査 (3)		異常認めず	肺がんであった者 (転移性を含まない)	肺がんの疑いのある者又は未確定	肺がん以外の疾患であった者 (転移性の肺がんを含む)
令和元年度	19,619	25.0	1,015	19,135	484	424	130	20	39	235
令和2年度	18,916	28.0	864	18,623	293	210	107	10	21	72

令和3年度実績報告より、「肺がん検診精密検査結果報告書」の様式に一部合わせた形の結果集計表に変更した。

	胸部エックス線検査					精検受診者	精検受診者診断結果					
	受診者数 (1) =(2)+(3)	受診率 (%) (1)/ 対象人口	喀痰細胞診受診者	精密検査不要 (2)	要精密検査 (3)		異常認めず	肺がんであった者 (転移性を含まない)	肺がんの疑いのある者又は未確定	肺がん以外の呼吸器疾患であった者 (転移性の肺がんを含む)	呼吸器以外の疾患 (咽頭がん・食道がん・甲状腺がん等)	
令和3年度	20,073	29.4	768	19,738	335	213	107	9	24	66	7	
令和4年度	20,200	28.6	754	19,904	296	216	112	10	23	63	8	
令和5年度	20,315	28.5	680	20,014	301	170	94	6	14	51	5	
計	男	7,823	24.1	583	7,708	115	60	31	3	6	18	2
	女	12,492	32.3	97	12,306	186	110	63	3	8	33	3
40～44歳	男	269		-	267	2	1	1	-	-	-	-
	女	423		-	418	5	3	2	-	-	1	-
45～49歳	男	331		-	328	3	3	2	-	-	-	1
	女	532		-	530	2	1	1	-	-	-	-
50～54歳	男	542		32	538	4	2	2	-	-	-	-
	女	848		6	842	6	4	3	-	-	1	-
55～59歳	男	585		58	580	5	4	3	-	-	1	-
	女	876		9	868	8	6	3	-	-	3	-
60～64歳	男	558		53	552	6	3	1	-	-	2	-
	女	917		8	906	11	5	3	-	-	2	-
65～69歳	男	818		84	805	13	7	4	-	-	2	1
	女	1,291		15	1,271	20	12	5	1	1	5	-
70～74歳	男	1,191		109	1,180	11	8	4	-	1	3	-
	女	1,885		22	1,857	28	17	12	-	3	2	-
75～79歳	男	1,549		136	1,519	30	17	7	3	2	5	-
	女	2,132		24	2,090	42	25	14	1	2	5	3
80歳以上	男	1,980		111	1,939	41	15	7	-	3	5	-
	女	3,588		13	3,524	64	37	20	1	2	14	-

※喀痰細胞診は50歳以上で喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)600以上の者が対象

※令和5年度の精検受診者診断結果は、6月報告分まで集計

### 3 がん患者支援

#### (1) がん患者ウィッグ購入等費用助成事業

がん治療に伴う脱毛等の外見変化が及ぼす心理的・経済的負担の軽減を図るため、がんと診断され治療を行い、ウィッグ等を購入した区民に対し、ウィッグ購入等費用の一部を助成する事業を令和2年度より実施している。さらに、令和5年度より、胸部補整具等も助成対象品に追加し、助成回数を1人2回までとした。

※令和4年度までは上限額3万円（購入等の額の1/2に相当する費用）、令和5年度より上限額10万円/回（1回当たり1商品）

	助成件数
令和2年度	73
令和3年度	96
令和4年度	95
令和5年度	212

#### (2) がん患者相談

がん患者やその家族を対象に、がんになっても安心して地域生活を送ることができるよう、治療や療養に関する不安や疑問、生活に関することなどの相談に応じている。

### 第3 精神保健福祉

平成7年7月精神保健法が精神保健福祉法に改定され、精神障害者のケアも病院から地域中心の方向へと大きく変わってきた。このような状況に対して、心の健康の保持・増進、精神障害者の早期発見、早期治療及び回復途上者のリハビリテーション事業の体系的施策の充実化が望まれる。

平成8年に地域精神保健福祉連絡協議会が発足し、ノーマライゼーションの考え方の基に精神障害者の自立と社会経済活動への参加の促進を図るための方策が検討されつつある。

現在は障害者総合支援法に基づき、事業を実施している。

#### 1 精神保健相談と訪問指導（精神保健福祉法第47条）

精神障害者とその家族及び区民を対象に、所内において専門医師による個別指導を行っている。また、保健師等による相談、個別指導を行っている。

##### (1) 精神保健相談実施状況

	相談回数	相談延人数	相談内容						
			老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康づくり	その他
令和元年度	48	81	4	-	11	-	1	38	27
令和2年度	44	62	1	-	7	-	-	34	20
令和3年度	48	89	6	-	7	-	5	44	27
令和4年度	48	95	5	1	11	1	4	42	31
令和5年度	48	83	1	-	7	-	1	43	32
保健SC	24	54	1	-	3	-	-	25	25
本郷支所	24	29	-	-	4	-	1	18	7

##### (2) 訪問指導及び所内相談・電話相談

	総数		訪問指導数										所内相談		電話・その他	
	実数	延数	実数	延数	訪問指導数（再掲）								実数	延数	実数	延数
					老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康づくり	その他					
令和元年度	1,430	4,024	334	944	14	49	9	-	-	7	865	574	902	532	2,188	
令和2年度	1,201	3,536	314	785	1	17	4	3	-	11	749	350	580	537	2,171	
令和3年度	1,310	3,528	325	900	4	40	6	5	7	7	831	529	780	456	1,848	
令和4年度	1,135	3,664	348	930	8	3	23	2	3	11	880	298	528	492	2,206	
令和5年度	1,314	3,771	457	1,062	4	4	46	-	12	23	973	300	509	557	2,200	
健康推進課	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
予防対策課	110	142	72	72	1	-	-	-	-	-	71	22	32	16	38	
保健SC	698	1,932	213	579	2	1	41	-	4	12	519	159	288	326	1,065	
本郷支所	506	1,697	172	411	1	3	5	-	8	11	383	119	189	215	1,097	

##### (3) 関係機関連絡

	連絡延数	医療機関	福祉関係	保健機関	その他
令和元年度	4,007	965	2,341	542	159
令和2年度	3,400	750	1,962	559	129
令和3年度	3,705	770	2,274	560	101
令和4年度	4,653	842	2,894	835	82
令和5年度	5,539	1,022	3,431	888	198
予防対策課	936	143	466	245	82
保健SC	2,370	470	1,604	252	44
本郷支所	2,233	409	1,361	391	72

## 2 講演会

精神保健に関する知識の普及のため一般区民等を対象に専門家による講演会を開催している。

所管	内容	回数	参加者数	場所
保健SC	今日から始める認知行動療法～不安なきもちとのつきあい方～	1	50	シビックセンター 3階会議室1・2
本郷支所	あなたの睡眠、満足していますか？睡眠力アップ講座	1	36	汐見地域活動センター 会議室A・B
予防対策課	専門医から学ぶ高次脳機能障害と認知症の違い	1	47	オンライン (ZOOM)

## 3 医療費公費負担申請（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第53条） 自立支援医療費制度（精神通院医療）

精神障害の状態の軽減のために必要な医療について確保し続けることができるようにするため、平成18年4月1日施行された。

病名別申請件数 3,293

		～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳～	計
精神および行動の障害	F0 症状性を含む器質性精神障害	-	2	3	54	15	15	13	17	5	124
	F00 アルツハイマー病型認知症	-	-	-	1	2	4	6	12	3	28
	F1 精神作用物質使用による精神・行動の障害	-	1	5	17	21	18	11	4	-	77
	F10 アルコール使用による精神・行動の障害	-	-	4	10	17	14	11	4	-	60
	F15 カフェイン・他の精神刺激剤使用による精神・行動の障害	-	-	-	2	3	3	-	-	-	8
	F2 統合失調症、統合失調型障害・妄想性障害	2	46	77	135	187	88	55	11	-	601
	F3 気分[感情]障害	6	173	322	365	374	228	89	36	8	1,601
	F4 神経症性障害, ストレス関連障害・身体表現性障害	1	25	43	50	41	34	16	1	-	211
	F5 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群	1	3	3	2	4	1	1	1	-	16
	F6 成人の人格・行動の障害	-	-	1	3	4	1	-	-	-	9
	F7 精神遅滞[知的障害]	-	4	2	6	3	1	2	-	-	18
	F8 心理的発達の障害	8	49	60	29	16	8	-	-	-	170
F9 その他	8	62	70	26	10	3	-	-	-	179	
神経系の疾患	G40 てんかん	6	31	26	22	20	16	16	1	-	138
転入等により不明		4	52	39	19	24	6	2	3	-	149
計		36	448	651	728	719	419	205	74	13	3,293

その他各種届等件数 964 件 (認定内容変更申請 469 件/記載事項変更届 458 件/再交付申請 37 件)

#### 4 精神障害者保健福祉手帳（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 45 条）

一定の精神障害の状態にあることを証明する手帳を交付することにより、手帳の交付を受けた者に対して、各種の支援策を講じやすくし、社会復帰の促進及び自立と社会参加の促進を図ることを目的として、平成 7 年に創設された。

精神障害者保健福祉手帳の令和 5 年度末の交付状況は、2,297 人（1 級 91 人、2 級 1,001 人、3 級 1,205 人）である。

#### 5 精神障害者福祉手当

生活の安定を支援することを目的に、平成 29 年度より精神に障害のある方（精神障害者保健福祉手帳 1 級、所得制限等の要件あり）に対し、区独自手当（月額 10,000 円）の支給を開始した。

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
受給者数(延)	99 人	116 人	120 人	121 人	135 人

※支給は 4, 8, 12 月で、上記人数は年 3 回の支給の延べ人数。

#### 6 障害者総合支援サービス（精神障害者）

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、自立支援給付及び地域生活支援事業のサービスを実施している。

##### (1) 支給決定人数（年度末現在）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
居宅介護（ホームヘルプ）	139	146	154	162	196
短期入所	5	5	6	6	7
生活介護	2	4	4	5	6
施設入所支援	-	-	1	-	-
自立訓練(生活訓練・機能訓練)	12	12	22	17	15
宿泊型自立訓練	2	2	2	1	-
就労移行支援	47	46	44	46	47
就労継続支援（A 型）	10	11	10	5	4
就労継続支援（B 型）	115	123	135	141	148
就労定着支援	27	32	33	28	30
自立生活援助	-	-	-	-	-
共同生活援助（グループホーム）	39	43	53	57	55
地域移行支援	2	1	-	1	-
地域定着支援	9	8	7	7	5
計画相談支援	196	232	267	286	323
移動支援	41	46	48	51	59
日常生活用具の給付	1	-	-	-	-

※ 計画相談支援とは、個々の状況等を勘案し利用するサービスの内容等を定めたサービス等利用計画書を作成する支援。平成 27 年 4 月 1 日から自立支援給付サービスの利用に当たり計画（セルフプラン含む）の作成が必須化。

※ 平成 30 年 4 月 1 日から就労定着支援と自立生活援助が新たに創設、自立訓練の機能訓練は精神障害者も対象になる。

##### (2) 地域活動支援センター

障害者の地域社会における自立生活を支援するために、創作活動や相談支援等を行い、交流の場を提供している。

施設名（運営主体）	住 所
文京地域生活支援センター あかり （社会福祉法人 復生あせび会）	千石四丁目 27 番 12 号 水間ビル 1 階
エナジーハウス （特定非営利活動法人 エナジー本舗）	千駄木五丁目 10 番 8 号
地域活動支援センター みんなの部屋 （公益財団法人 東京カリタスの家）	関口三丁目 16 番 15 号

## 7 児童福祉法サービス（精神障害児）

児童福祉法に基づき、精神に障害のある児童（発達障害児等を含む）に対して、障害児通所支援や障害児相談支援のサービスを実施している。

支給決定人数（年度末現在）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
児童発達支援	155	193	193	216	271
放課後等デイサービス	212	221	258	279	321
障害児相談支援	190	184	184	209	230
保育所等訪問支援	1	6	15	23	39

※身体障害者手帳及び愛の手帳を所持していない児童を含む。

※難病児含む。

## 8 精神障害者グループホーム開所費用助成

文京区内に精神障害者グループホームを新規に開所する事業者に対して、礼金・入居までの家賃等の初期費用の一部を助成することにより、グループホームの増設を図る。

令和5年度の助成実績は0件であった。

## 9 精神障害者グループホーム防災訓練開催費等補助

安全なグループホームの運営を図るために精神障害者グループホームに対して、防災対策事業を行った際の経費の助成を行う。令和5年度の助成実績は2件であった。

## 10 障害者（児）施設防犯対策支援事業

施設の安全性の向上を図るために障害者（児）施設の防犯設備を整備する経費の助成を行う。

令和5年度の助成実績は0件であった。

## 11 精神障害回復途上者デイケア事業

回復途上にある精神障害者を対象に集団生活指導を行い、対人関係の障害を改善するとともに、日常生活習慣の習得を図り、社会生活への適応能力を高めることを目的として実施している。

平成元年に開始し、保健師、グループワーカーを中心に、生活技能訓練やレクリエーションなどを取り入れたプログラムに基づき、週3回実施している。

### (1) 月別実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和元年度 実施回数	11	11	12	13	9	12	13	11	12	11	11	13	139	
令和2年度 実施回数	3		5	8	10	13	13	12	12	11	11	14	112	
令和3年度 実施回数	11	11	13	12	10	12	12	12	12	11	11	14	141	
令和4年度 実施回数	12	11	14	11	11	12	12	11	11	10	11	14	140	
令和5年度 実施回数	11	12	13	12	11	11	12	13	11	9	12	11	138	
参加者	登録実人員	9	10	11	10	10	8	9	9	9	9	9		
	登録延人員	58	59	74	53	55	46	67	75	61	58	63	722	
	見学実人員	2	2	1	1	1	1	-	-	1	1	1		
	見学延人員	12	13	4	4	5	4	-	-	4	3	3	55	
	OB実人員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	OB延人員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

延人員 777人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月9日～6月11日の事業中止。

(2) 内容別活動状況

プログラム			回数	内 容	プログラム			回数	内 容
所内活動	季節の行事	11	お花見、クリスマス会など	所内活動	室内ゲーム・レク	10	すごろく、人生ゲームなど		
	音楽	12	音楽家指導による合奏など		コーヒータイム	-	喫茶店での歓談		
	創作	12	講師指導による工作、絵画など		カラオケ	-	自由に歌い、気分を明るくする		
	歯科教室	-	歯科衛生士による指導		ディスカッション	11	テーマを設けて話し合う		
	図書館	4	資料を調べたり、読書を行う		音楽・映画鑑賞	13	互いに鑑賞する		
	生活技能訓練・復習	23	対人交流のスキルを身につける		外出プログラム	4	神社、プラネタリウムなど		
	各種講座	14	社会資源講座など		工作	37	大人のぬりえ、コラージュなど		
	ウォーキング	12	講師指導による運動		料理	11	計画、買物、調理		
	スポーツ	39	卓球、モルック、ボッチャなど		その他	10	支所見学、フリープログラムなど		
	プログラム決め	12	月間予定の検討		定期面接	16	スタッフ(6)や嘱託医(10)による面接		
	係活動	15	園芸、パソコン、清掃、新聞		かんたん料理	5	白玉団子やホットケーキなど		
所外活動	バス旅行								
	施設見学								
	地域交流祭								

※同じ時間帯に複数の活動を行うこともある。

(3) 管内別受入状況

	計	年代別												病名別	
		10代		20代		30代		40代		50代		60代		統合失調	その他
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
令和元年度	19	-	-	1	4	4	2	2	-	2	3	1	-	19	-
令和2年度	15	-	-	1	3	3	2	2	-	2	1	1	-	15	-
令和3年度	13	-	-	-	2	2	2	2	2	1	1	1	-	13	-
令和4年度	14	-	-	-	2	1	2	3	3	1	1	1	-	14	-
令和5年度	15	-	-	-	1	-	3	4	2	2	2	1	-	15	-
保健SC	10	-	-	-	1	-	-	3	2	2	1	1	-	10	-
本郷支所	5	-	-	-	-	-	3	1	-	-	1	-	-	5	-

(4) 在籍状況

	新規受入者	終了者	※継続者
令和元年度	2	3	13
令和2年度	-	1	12
令和3年度	2	1	14
令和4年度	2	2	13
令和5年度	3	4	11

※継続者については、令和6年3月末日現在

(5) デイケア終了者の状況

	就労	就労継続 支援施設	授産施設	アルバイト	家庭内 復帰	自営 手伝い	地域活動 支援センター	病院 デイケア	その他	計
令和元年度	-	2	-	-	-	-	-	-	1	3
令和2年度	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
令和3年度	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
令和4年度	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
令和5年度	-	-	-	-	-	1	1	-	2	4

(6) デイケア家族会

精神障害者が社会復帰するためには、家族が取るべき役割も大きい。そこで、デイケア通所者の家族に対して、病気に対する理解を深め、家族同士の支え合い、学び合うこと等を目的に家族会を開催している。

	開催回数	参加者数
令和元年度	1	6
令和2年度		
令和3年度		
令和4年度		
令和5年度	1	8

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2～4年度の事業中止。

(7) デイケア家族教室

精神保健福祉についての状況は日々変化している。的確な知識、情報を提供し、家族及び当事者がより良く生活することを目的として、家族教室を実施している。

実施日	参加者数	テーマ	講師
令和6年1月20日	8	統合失調症の理解と回復	東京大学医学部附属病院 医師 澤井 大和 氏

12 精神障害者地域生活安定化支援事業

未治療や治療中断のおそれのある精神障害者を対象として、病状悪化を未然に防止することを目的に、通院同行や服薬見守り及び生活支援を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用実績(延人数)	32	26	21	20	20
利用実績(延支援回数)	2,982	2,018	2,372	3,071	3,165

13 精神障害者単身生活サポート事業

グループホームを退所後、区内において単身生活を希望する精神障害者を対象として、住居の確保や入居後の相談及び生活支援等を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用実績(延人数)	3	7	8	7	5
利用実績(延支援回数)	150	567	382	260	318



## 14 精神保健ホームヘルパー研修

精神障害者の地域生活を支えるホームヘルプサービスの需要は年々増加しているが、障害者総合支援法の精神障害者に対する居宅介護事業に従事するホームヘルパーは不足している。

そこで、有資格者(ヘルパー2級以上、他)を対象として、介護事業受け入れの動機付けを与えるために、平成22年度から新規事業として研修を開始した。

	事業者数	終了者数
令和元年度	8	16
令和2年度		
令和3年度	5	6
令和4年度	6	19
令和5年度	8	27

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は事業中止。令和3年度は書面開催。

## 15 文京区精神障害者支援機関実務者連絡会

区内支援機関のネットワーク作り及び職務遂行能力の向上を目的に、講義とグループワークを行う連絡会を開催している。

令和5年度は3回実施し、区内支援機関より60名が参加した。

## 16 自殺対策

「自殺対策基本法」に基づき「文京区自殺対策計画(令和6年度～令和10年度)」を定め、誰もが安心して暮らせる文京区を目指し、取組を展開している。

### (1) 自殺対策の普及啓発事業

自殺に関する正しい知識と理解を促すために、区民及び関係機関に対し普及啓発事業を実施した。

事業内容	令和5年度実績
「令和5年度版こころといのちの相談窓口一覧」 様々な相談窓口を周知するため、庁内外の自殺対策に関連する相談窓口をまとめたリーフレットを作成し、関係機関に配布。	・4,000部作成し、関係施設340か所に配置
「自殺対策強化月間等の重点周知」 東京都自殺対策強化月間(9・3月) 世界自殺予防デー(9月10日)	東京都と連携し、街頭キャンペーンを9・3月に実施
「区自殺対策ホームページ」	相談窓口等を通年表示(随時更新)
「こころの体温計」 平成27年度から自分のストレス度等を知るため、携帯電話等からアクセスできるメンタルヘルスチェックシステムを区のホームページに掲載、判定結果と併せて相談窓口を紹介。	・利用延べ人数 16,203名 ・啓発チラシ入りポケットティッシュを関係施設に配置
「自殺対策講演会」 自殺対策や精神保健に対する正しい知識の普及啓発に向けた取組として講演会を実施。	令和6年1月19日実施(オンライン開催) テーマ：子ども・若者のSOSを受け止めるために ～私たちにできること～ 講師：高橋 聡美 氏 (中央大学人文科学研究所 客員研究員 医学博士) 参加者数：23名

(2) 自殺対策を支える人材育成

ゲートキーパー（身近な自殺のサインに気づき、対応することができる人）を養成するための講座を民生委員・児童委員と区民（在住・在勤・在学）に対しそれぞれ実施した。

① 令和5年度実績

実施日・テーマ・講師	対象	回数	参加者数
令和6年3月1日実施 テーマ：生きづらさを抱えた人と出会う 講師：認定NPO国際ビフレンダーズ 東京自殺防止センター 村 明子 氏	区民（在勤、在学を含む）	1	36
令和6年3月7日実施 テーマ：自殺のサインに気づく 講師：日本医科大学付属病院 大高 靖史 氏	民生委員・児童委員	1	38

② 講座数・受講者数

	講座数			受講者数		
	区民対象	職員対象	計	区民	区職員	計
令和元年度	1	2	3	48	26	74
令和2年度	1	2	3	26	24	50
令和3年度	2	-	2	40	-	40
令和4年度	1	1	2	31	20	51
令和5年度	1	1	2	36	38	74

(3) 自殺を防ぐための関係機関・地域ネットワークの強化

① 区自殺対策委員会

自殺対策に関する庁内各部署の連携体制を構築し、効果的な事業等を検討し、推進する目的で設置し、令和5年度は文京区自殺対策計画改定のため4回実施した。

② 区自殺対策推進会議

保健・医療・法曹・福祉・労働・教育等の関係機関と行政機関で構成し、自殺対策の取組等を評価検証する目的で設置し、令和5年度は文京区自殺対策計画改定のため4回開催した。

(4) 悩みを抱える人への支援

医療機関のニーズを把握するとともに、医療機関と行政が双方向のネットワークを構築し、課題の整理を行い自殺未遂者や希死念慮のある人への支援体制の確保および総合的な推進を図るため、庁内関係部門、区内医療機関などとの連携を推進することを目的に、自殺未遂者等のハイリスク者支援のあり方を考えるための意見交換会を開催した。

17 退院後支援

措置入院等で入院した者に対し、退院後、地域で自分らしく生活できるようにするために、必要な医療・福祉・介護・就労支援等の支援を実施する。令和元年7月より施行、実施した。

	令和元年度 (7月～)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支給実績（実人数）	9	19	18	19	18
支給実績（延支援回数） ※病院等訪問のみ、連絡等の支援は除く	33	61	97	66	68
個別ケース検討会議実施回数	2	7	8	8	4
退院後支援計画作成件数	2	5	7	3	3

## 第4 難病対策

### 1 難病相談事業

会場まで通所可能な神経難病患者や、パーキンソン病患者を対象とした体操教室を開催している。教室では病気の理解を深め、日常生活を過ごしやすくする方法を学ぶとともに、患者同士の情報交換・交流の機会となっている。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4～9月、令和3年1月～令和4年7月の事業中止。

※難病リハビリ教室及びパーキンソン病体操教室を中止とした。代替として、難病の療養における個別相談会（令和3年度 年7回、計14名、令和4年度 年3回、計6名）を実施した。

#### (1) 木よう体操教室 A グループ

(旧パーキンソン病体操教室)

	実施回数	実施人数
令和元年度	12	255
令和2年度	3	65
令和3年度		
令和4年度	8	46
令和5年度	12	86

#### (2) 木よう体操教室 B グループ

(旧難病リハビリ教室)

	実施回数	実施人数
令和元年度	12	27
令和2年度	3	3
令和3年度		
令和4年度	8	41
令和5年度	12	74

### 2 東京都の難病対策

東京都では在宅難病患者に対する支援事業が実施されており、保健所は相談窓口及び申請の受付進達事務を行うとともに、保健師、看護師が訪問指導を行っている。

#### (1) 在宅難病患者医療機器貸与事業

在宅難病患者が使用する吸入器、吸引器を貸与し、併せて訪問看護を実施することにより、患者の経済的負担の軽減と療養環境の向上を図っている。

	貸与者数
令和元年度	6
令和2年度	5
令和3年度	3
令和4年度	3
令和5年度	3

#### (2) 在宅難病患者緊急一時入院事業

在宅難病患者が家族等の介護者の疾病・事故その他の事情により、一時的に介護を受けられなくなった場合に、医療機関に入院できるよう11か所の医療機関で17床（ベッド数）が確保されている。

	延数
令和元年度	17
令和2年度	8
令和3年度	5
令和4年度	6
令和5年度	4

(3) 在宅難病患者訪問診療事業

寝たきり等により、受診が困難な在宅難病患者に対して、医療の確保及び療養環境の向上を図るため、東京都が地区医師会に訪問診療事業を委託している。その際、地区担当保健師も同行し、患者に対して生活指導を行っている。

	延数
令和元年度	21
令和2年度	5
令和3年度	8
令和4年度	8
令和5年度	12

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2～4年度は一部書面開催。

### 3 障害者総合支援サービス（難病患者）

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、平成25年度から難病患者に対して自立支援給付及び地域生活支援事業のサービスを実施している。

（対象疾病：366疾病、令和4年3月31日現在）

(1) 支給決定人数（年度末現在）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
居宅介護（ホームヘルプ）	6	6	6	5	3
計画相談支援	-	-	1	1	-
移動支援	4	3	3	3	3

(2) 支給決定件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
補装具費の支給	-	-	1	-	1
日常生活用具の給付	-	1	1	1	5
住宅設備改善	-	-	-	-	1

### 4 小児慢性特定疾病児童の日常生活用具の給付

平成28年度から小児慢性特定疾病医療受給者証の所持者に日常生活用具の給付事業を実施している。

支給決定件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
日常生活用具の給付	1	1	4	2	1

## 第5 医療費助成

令和5年度において次のとおりの医療費の給付申請があり、助成又は受付進達事務を行っている。

根拠	給付項目					合計	
法	総数					4,369	
	養育医療給付	育成医療給付	医療給付	療給付	療給付	50	
						2	
						-	
	療給付	核医療費	核医療費	核医療費	核医療費	60	
	精神障害者通院医療費					4,257	
	総数					238	
	妊娠高血圧症候群等	妊婦精密健康診査	妊婦精密健康診査	妊婦精密健康診査	妊婦精密健康診査	1	
						-	
	乳幼児精密健康診査					237	
	総数					135	
	小児慢性特定疾病	悪性新生物	慢性腎臓病	慢性呼吸器疾患	慢性心臓病	慢性内分泌疾患	25
							6
							5
							30
						12	
						5	
						7	
						3	
						5	
						3	
						14	
						17	
						3	
						-	
					-		
					-		
根拠	給付項目					合計	
都医療費助成	総数					597	
	特殊疾病	悪性高血圧症	原発性骨髄線維症	母斑症（指定難病を除く。）	肝臓結石症	古典的特発性好酸球增多症候群	-
							-
							3
							1
							-
							1
							1
							1
							-
					436		
					110		
					-		
					45		

※1 特殊医療費等助成

※2 平成31年1月1日 精神障害者保健福祉手帳1級所持者への制度対象拡充により開始

根拠	給付項目	合計	根拠	給付項目	合計
	総数	1,941			
国 法に 医療 に基づく 費用 助成 指定 難病	001 球脊髄性筋萎縮症	3	国 法に 医療 に基づく 費用 助成 指定 難病	054 成人スチル病	10
	002 筋萎縮性側索硬化症	13		055 再発性多発軟骨炎	1
	003 脊髄性筋萎縮症	5		056 ベーチェット病	34
	004 原発性側索硬化症	-		057 特発性拡張型心筋症	26
	005 進行性核上性麻痺	31		058 肥大型心筋症	11
	006 パーキンソン病	264		059 拘束型心筋症	-
	007 大脳皮質基底核変性症	10		060 再生不良性貧血	19
	008 ハンチントン病	1		061 自己免疫性溶血性貧血	3
	009 神経有棘赤血球症	-		062 発作性夜間ヘモグロビン尿症	-
	010 シャルコー・マリー・トウス病	4		063 特発性血小板減少性紫斑病	25
	011 重症筋無力症	44		064 血栓性血小板減少性紫斑病	-
	012 先天性筋無力症候群	-		065 原発性免疫不全症候群	6
	013 多発性硬化症／視神経脊髄炎	45		066 Ig A 腎症	27
	014 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	8		067 多発性嚢胞腎	57
	015 封入体筋炎	1		068 黄色靱帯骨化症	5
	016 クロウ・深瀬症候群	-		069 後縦靱帯骨化症	26
	017 多系統萎縮症	16		070 広範脊柱管狭窄症	1
	018 脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く）	33		071 特発性大腿骨頭壊死症	31
	019 ライソゾーム病	1		072 下垂体性ADH分泌異常症	8
	020 副腎白質ジストロフィー	2		073 下垂体性TSH分泌亢進症	-
	021 ミトコンドリア病	1		074 下垂体性PRL分泌亢進症	7
	022 もやもや病	13		075 クッシング病	4
	023 プリオーン病	1		076 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	-
	024 亜急性硬化性全脳炎	-		077 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	4
	025 進行性多巣性白質脳症	-		078 下垂体前葉機能低下症	33
	026 HTLV-1 関連脊髄症	-		079 家族性高コレステロール血症（ホモ接	1
	027 特発性基底核石灰化症	-		080 甲状腺ホルモン不応症	-
	028 全身性アミロイドーシス	11		081 先天性副腎皮質酵素欠損症	1
	029 ウルリッヒ病	-		082 先天性副腎低形成症	-
	030 遠位型ミオパチー	1		083 アジソン病	1
	031 ベスレムミオパチー	-		084 サルコイドーシス	23
	032 自己貪食空胞性ミオパチー	-		085 特発性間質性肺炎	18
	033 シュワルツ・ヤンペル症候群	-		086 肺動脈性肺高血圧症	7
	034 神経線維腫症	5		087 肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	-
	035 天疱瘡	3		088 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	10
	036 表皮水疱症	-		089 リンパ管筋腫症	3
	037 膿疱性乾癬（汎発型）	3		090 網膜色素変性症	22
	038 スティーヴンス・ジョンソン症候群	1		091 バッド・キアリ症候群	-
	039 中毒性表皮壊死症	-		092 特発性門脈圧亢進症	-
	040 高安動脈炎	8		093 原発性胆汁性胆管炎	33
	041 巨細胞性動脈炎	14		094 原発性硬化性胆管炎	4
	042 結節性多発動脈炎	3		095 自己免疫性肝炎	11
	043 顕微鏡的多発血管炎	27		096 クローン病	105
	044 多発血管炎性肉芽腫症	9		097 潰瘍性大腸炎	282
	045 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	25		098 好酸球性消化管疾患	5
	046 悪性関節リウマチ	5		099 慢性特発性偽性腸閉塞症	-
	047 バージェャー病	1		100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	-
	048 原発性抗リン脂質抗体症候群	3		101 腸管神経節細胞僅少症	-
	049 全身性エリテマトーデス	117		102 ルビンシュタイン・テイビ症候群	-
	050 皮膚筋炎／多発性筋炎	44		103 CFC 症候群	-
	051 全身性強皮症	54		104 コステロ症候群	-
	052 混合性結合組織病	24		105 チャージ症候群	-
	053 シェーグレン症候群	40		106 クリオピリン関連周期熱症候群	-
			107 若年性特発性関節炎	3	
			108 TNF受容体関連周期性症候群	-	



根拠	給付項目	合計	根拠	給付項目	合計
国 医 療 費 助 成	109	-	国 医 療 費 助 成	160	-
	110	-		161	-
	111	2		162	5
	112	-		163	1
	113	7		164	-
	114	-		165	-
	115	-		166	1
	116	-		167	2
	117	2		168	-
	118	-		169	-
	119	-		170	-
	120	1		171	1
	121	-		172	-
	122	-		173	-
	123	-		174	-
	124	1		175	-
	125	1		176	-
	126	-		177	-
	127	3		178	-
	128	-		179	-
	129	-		180	-
	130	-		181	-
	131	-		182	-
	132	-		183	-
	133	-		184	-
	134	-		185	-
	135	-		186	-
	136	-		187	-
	137	-		188	-
	138	-		189	-
	139	-		190	-
	140	-		191	-
	141	-		192	-
	142	-		193	2
	143	-		194	-
144	-	195	-		
145	-	196	-		
146	-	197	-		
147	-	198	-		
148	-	199	-		
149	-	200	-		
150	-	201	-		
151	-	202	-		
152	-	203	-		
153	-	204	-		
154	-	205	-		
155	-	206	-		
156	-	207	-		
157	1	208	1		
158	4	209	-		
159	-	210	2		
		211	-		
		212	-		
		213	-		
		214	-		

根拠	給付項目	合計	根拠	給付項目	合計	
国 法に 医療 費 助 成 に基づく 指定 難病	215	フ ァ ロ ー 四 徴 症	-	267	高 I g D 症 候 群	-
	216	両 大 血 管 右 室 起 始 症	-	268	中 條 ・ 西 村 症 候 群	-
	217	エ プ ス タ イ ン 病	-	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・ ア ク ネ 症 候 群	-
	218	ア ル ポ ー ト 症 候 群	-	270	慢 性 再 発 性 多 発 性 骨 髄 炎	-
	219	ギャロウェイ・モワト症候群	-	271	強 直 性 脊 椎 炎	12
	220	急速進行性糸球体腎炎	1	272	進行性骨化性線維異形成症	-
	221	抗糸球体基底膜腎炎	2	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	-
	222	一次性ネフローゼ症候群	29	274	骨 形 成 不 全 症	1
	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	-	275	タナトフォリック骨異形成症	-
	224	紫 斑 病 性 腎 炎	1	276	軟 骨 無 形 成 症	1
	225	先 天 性 腎 性 尿 崩 症	-	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	-
	226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	-
	227	オ ス ラ ー 病	1	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性)	-
	228	閉 塞 性 細 気 管 支 炎	1	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病)	-
	229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	-	281	クリッペル・トレノネー・ ウ ェ ー バ ー 症 候 群	-
	230	肺 胞 低 換 気 症 候 群	-	282	先 天 性 赤 血 球 形 成 異 常 性 貧 血	-
	231	α1-アンチトリプシン欠乏症	-	283	後 天 性 赤 芽 球 癆	-
	232	カ ー ニ ー 複 合	-	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	-
	233	ウ オ ル フ ラ ム 症 候 群	-	285	フ ァ ン コ ニ 貧 血	-
	234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジスト ロ フィ ー を 除 く。)	-	286	遺 伝 性 鉄 芽 球 性 貧 血	-
	235	副 甲 状 腺 機 能 低 下 症	1	287	エ プ ス タ イ ン 症 候 群	-
	236	偽 性 副 甲 状 腺 機 能 低 下 症	1	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	2
	237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	-	289	クロンカイト・カナダ症候群	-
	238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	5	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	-
	239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	-	291	ヒルシュスプルング病 (全結腸型又は小腸型)	-
	240	フ ェ ニ ル ケ ト ン 尿 症	-	292	総 排 泄 腔 外 反 症	-
	241	高 チ ロ シ ン 血 症 1 型	-	293	総 排 泄 腔 遺 残	-
	242	高 チ ロ シ ン 血 症 2 型	-	294	先 天 性 横 隔 膜 ヘルニア	-
	243	高 チ ロ シ ン 血 症 3 型	-	295	乳 幼 児 肝 巨 大 血 管 腫	-
	244	メ ー プ ル シ ロ ッ プ 尿 症	-	296	胆 道 閉 鎖 症	1
	245	プ ロ ピ オ ン 酸 血 症	-	297	ア ラ ジ ー ル 症 候 群	-
	246	メ チ ル マ ロ ン 酸 血 症	-	298	遺 伝 性 睥 炎	-
	247	イ ソ 吉 草 酸 血 症	-	299	囊 胞 性 線 維 症	-
	248	グルコーストランスポーター1欠損症	-	300	I g G 4 関 連 疾 患	7
	249	グ ル タ ル 酸 血 症 1 型	-	301	黄 斑 ジ ス ト ロ フ ィ ー	-
	250	グ ル タ ル 酸 血 症 2 型	-	302	レ ー ベ ル 遺 伝 性 視 神 経 症	-
	251	尿 素 サ イ ク ル 異 常 症	-	303	ア ッ シ ャ ー 症 候 群	-
	252	リジン尿性蛋白不耐症	-	304	若年発症型両側性感音難聴	-
	253	先 天 性 葉 酸 吸 収 不 全	-	305	遅 発 性 内 リ ン パ 水 腫	-
	254	ポ ル フ ィ リ ン 症	-	306	好 酸 球 性 副 鼻 腔 炎	58
	255	複 合 カ ル ボ キ シ ラ ー ゼ 欠 損 症	-	307	カ ナ バ ン 症	-
	256	筋 型 糖 原 病	-	308	進 行 性 白 質 脳 症	-
	257	肝 型 糖 原 病	-	309	進 行 性 ミ オ ク ロ ー ヌ ス て ん か ん	1
	258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルト ラ ン ス フ ェ ラ ー ゼ 欠 損 症	-	310	先 天 異 常 症 候 群	-
	259	レシチンコレステロールアシルトラン ス フ ェ ラ ー ゼ 欠 損 症	-	311	先 天 性 三 尖 弁 狭 窄 症	-
	260	シ ト ス テ ロ ー ル 血 症	-	312	先 天 性 僧 帽 弁 狭 窄 症	-
261	タ ン ジ ー ル 病	-	313	先 天 性 肺 静 脈 狭 窄 症	-	
262	原 発 性 高 カ イ ロ ミ ク ロ ン 血 症	-	314	左 肺 動 脈 右 肺 動 脈 起 始 症	-	
263	脳 臍 黄 色 腫 症	-	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候 群)/LMX1B 関 連 腎 症	-	
264	無 β リポタンパク血症	-	316	カ ル ニ チ ン 回 路 異 常 症	-	
265	脂 肪 萎 縮 症	-	317	三 頭 酵 素 欠 損 症	-	
266	家 族 性 地 中 海 熱	-	318	シ ト リ ン 欠 損 症	-	



根拠	給付項目		合計	根拠	給付項目		合計	
国 医 療 費 助 成	法 に 基 づ く 指 定 難 病	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	-	法 に 基 づ く 指 定 難 病	331	特発性多中心性キャッスルマン病	3
		320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	-		332	膠様滴状角膜ジストロフィー	-
			321	非ケトーシス型高グリシン血症		-	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群
		322	β-ケトチオラーゼ欠損症	-		334	脳クレアチン欠乏症候群	-
		323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	-		335	ネフロシス	-
		324	メチルグルタゴン酸尿症	-		336	家族性低βリポタンパク血症(ホモ接合体)	-
		325	遺伝性自己炎症疾患	-		337	ホモシスチン尿症	-
		326	大 理 石 骨 病	-		338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	-
		327	特 発 性 血 栓 症 (遺伝性血栓性素因によるものに限る)	-		※1	スモニン	1
		328	前 眼 部 形 成 異 常	1			劇 症 急 性 膵 炎	-
		329	無 虹 彩 症	-			プリオン病(ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る)	-
		330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	-		※2	先天性血液凝固因子欠乏症等	11

※1 国研究事業対象疾病

※2 特殊医療費等助成

## 第6 公害保健

〔国制度：公害健康被害の補償等に関する法律〕

文京区は昭和49年11月30日以来、公害健康被害補償法（昭和63年3月1日から「公害健康被害の補償等に関する法律」に改題された。）に基づく第一種地域（大気汚染による健康被害地域）に指定されていたが、大気汚染状況の変化を踏まえ、昭和63年3月1日に全ての第一種地域の指定が解除されたことにより、新たな健康被害者の認定は行われなくなった。被認定者に対する補償は、従前どおり継続する。

〔東京都制度：大気汚染に係る健康障害者に対する医療費の助成に関する条例〕

昭和47年10月から、18歳未満の新たな健康被害者については、東京都条例に基づく認定を行っており、平成20年8月から気管支ぜん息に限り対象年齢が全年齢に拡大された。その後、平成27年4月より、再び新規認定者は年齢18歳未満に限定された。

平成30年4月から、生年月日が平成9年4月1日以前の方は、保険診療の窓口支払額について、月額6,000円の自己負担が生じることとなった。

### 1 公害健康被害の被認定者の認定更新

認定の有効期間内に指定疾病（気管支ぜん息・ぜん息性気管支炎・慢性気管支炎・肺気しゅ）が治る見込みがないときは、被認定者の申請に基づき文京区公害健康被害認定審査会の答申を受けて認定の更新を行っている。

なお、認定は認定疾病により有効期間が定められており、ぜん息性気管支炎については2年、その他については3年となっている。

公害健康被害の補償等に係る認定申請並びに認定状況

	合 計	15歳未満			15歳以上															性別		
		0歳	5歳	10歳	15歳	18歳	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳	男	女			
被認定者数 (A+B)	2,621	1,453	524	621	308	1,168	54	23	66	71	99	87	72	81	76	68	128	116	227	1,505	1,116	
申請者	総数	2,409	1,415	518	604	293	994	46	19	44	43	56	59	58	68	73	67	127	113	221	1,397	1,012
	取下	61	34	9	14	11	27	3	1	4	1	1	2	1	-	2	3	2	3	4	38	23
	実人数	2,348	1,381	509	590	282	967	43	18	40	42	55	57	57	68	71	64	125	110	217	1,359	989
処分内容	認定(A)	2,337	1,379	509	589	281	958	43	18	40	41	55	57	57	68	71	63	123	109	213	1,352	985
	否決	11	2	-	1	1	9	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	2	1	4	7	4
	未決	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
転入者(B)	284	74	15	32	27	210	11	5	26	30	44	30	15	13	5	5	5	7	14	153	131	

※令和6年3月末現在の被認定者実人数337人（被認定者数合計—資格喪失者数合計）

※申請・認定・転入状況（申請・転入時年齢別）

※昭和49年12月～令和6年3月末累計

資格喪失状況（喪失時年齢別）

	合 計	15 歳 未 満					15 歳 以 上														性別	
		0 歳	5 歳	10 歳	15 歳 以 上	計	15 歳	18 歳	20 歳	25 歳	30 歳	35 歳	40 歳	45 歳	50 歳	55 歳	60 歳	65 歳	70 歳	男	女	
		4 歳	9 歳	14 歳			17 歳	19 歳	24 歳	29 歳	34 歳	39 歳	44 歳	49 歳	54 歳	59 歳	64 歳	69 歳	以上			
資格喪失者数	2,284	648	44	216	388	1,636	272	112	189	112	81	69	38	47	46	28	45	50	547	1,323	961	
治ゆ	61	16	1	2	13	45	11	3	6	4	1	3	2	1	1	-	1	1	11	41	20	
期限切れ	1,155	487	16	157	314	668	234	97	137	59	30	29	17	12	15	5	6	2	25	728	427	
更新否決	10	6	-	3	3	4	-	1	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	6	4	
転出	443	137	26	54	57	306	25	9	41	47	46	31	16	25	18	7	8	8	25	221	222	
死亡	615	2	1	-	1	613	2	2	4	2	4	6	2	9	12	15	30	39	486	327	288	

※昭和49年12月～令和6年3月末累計

遺族補償の認定審査状況（過去5か年度）

	合 計	遺族補償費 及び葬祭料	遺族補償一時金 及び葬祭料	遺族補償 一時金のみ	葬祭料のみ	特 級	1 級	2 級	3 級	級 外	100 %	75%	50%	0%
令和元年度	4	1	-	1	2	-	-	2	2	-	-	1	1	2
令和2年度	4	-	2	-	2	-	-	2	2	-	-	1	3	-
令和3年度	4	1	1	-	2	-	-	1	3	-	-	-	4	-
令和4年度	6	-	2	3	1	-	-	2	3	1	-	1	5	-
令和5年度	3	-	2	1	-	-	-	1	1	1	-	-	2	1

疾病・障害等級別認定状況

		合 計	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	性別		
			歳 29 歳	歳 34 歳	歳 39 歳	歳 44 歳	歳 49 歳	歳 54 歳	歳 59 歳	歳 64 歳	歳 69 歳	歳 以 上	男	女	
認定者実人数		337	-	-	9	48	58	60	41	26	16	79	185	152	
疾病・ 障害等級別	気管支ぜん息	合計	332	-	-	9	48	58	60	40	26	16	75	184	148
		特級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1級	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	2	1
		2級	28	-	-	-	-	-	1	2	6	1	18	8	20
		3級	216	-	-	4	28	45	31	29	15	14	50	120	96
		級外	85	-	-	5	20	13	28	9	4	1	5	54	31
	ぜん息性気管支炎	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		特級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		3級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		級外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	慢性気管支炎	合計	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	3
		特級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		3級	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	2
		級外	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	肺気しゅ	合計	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1
		特級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2級		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3級		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	
級外		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
障害等級別	特 級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	1 級	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	2	1	
	2 級	28	-	-	-	-	-	1	2	6	1	18	8	20	
	3 級	220	-	-	4	28	45	31	30	15	14	53	121	99	
	級 外	86	-	-	5	20	13	28	9	4	1	6	54	32	

令和6年3月末現在

認定患者数及び疾病・等級内訳推移表（過去5か年度）

	認定者 実人数	資格状況		疾病別内訳				等級別内訳				
		転入者	資格喪 失者数	気管支 ぜん息	ぜん息 性気管 支炎	慢性 気管 支炎	肺気 しゅ	特級	1級	2級	3級	級外
令和元年度	△5	2	7	(97.5)	(-)	(1.9)	(0.6)	(-)	(0.8)	(10.2)	(64.2)	(24.8)
	363	275	2,249	354	-	7	2	-	3	37	233	90
令和2年度	△8	3	11	(98.0)	(-)	(1.4)	(0.6)	(-)	(0.8)	(9.3)	(64.8)	(25.1)
	355	278	2,260	348	-	5	2	-	3	33	230	89
令和3年度	△6	5	11	(98.0)	(-)	(1.4)	(0.6)	(-)	(0.9)	(8.9)	(64.7)	(25.5)
	349	283	2,271	342	-	5	2	-	3	31	226	89
令和4年度	△7	-	7	(98.2)	(-)	(1.2)	(0.6)	(-)	(0.9)	(9.1)	(64.9)	(25.1)
	342	283	2,278	336	-	4	2	-	3	31	222	86
令和5年度	△5	1	6	(98.5)	(-)	(0.9)	(0.6)	(-)	(0.9)	(8.3)	(65.3)	(25.5)
	337	284	2,284	332	-	3	2	-	3	28	220	86

上段：当該年度（上段）：構成比％  
下段：累計 下段：実数

等級見直し判定結果（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

		現等級				
		特級	1級	2級	3級	級外
判定結果	特級	-	-	-	-	-
	1級	-	4	-	-	-
	2級	-	-	29	-	-
	3級	-	-	-	223	-
	級外	-	-	-	-	-
	合計	-	4	29	223	-

## 2 公害健康被害者に対する補償給付

認定を受けた公害健康被害者に対し、法に基づき次の補償給付を行っている。

- ① 医療費 公害医療手帳を提示すると、指定疾病に係る治療が無料で受けられる。
  - ② 障害補償費 15歳以上で、一定の障害を有する者に対して定期給付を行う。
  - ③ 児童補償手当 15歳未満で、一定の障害を有する児童を養育している者に対して定期給付を行う。  
※昭和63年より新規の認定は行っていないため、対象者なし。
  - ④ 療養手当 月毎の診療日数に応じて手当の支給を行う。
  - ⑤ 遺族補償費
  - ⑥ 遺族補償一時金
  - ⑦ 葬祭料
- } 指定疾病に起因して死亡した遺族に対して、定期給付又は一時金による補償と葬祭料の支給を行う。

公害健康被害補償給付実績（過去5か年度）

	医療費	障害補償費	児童補償 手当	療養手当	遺族補償費	遺族補償 一時金	葬祭料	合計
令和元年度	130,874,682	274,139,800	-	10,537,000	14,121,600	4,382,100	336,000	434,391,182
令和2年度	116,935,329	271,914,420	-	9,747,900	10,144,700	7,303,500	840,500	416,886,349
令和3年度	112,411,210	264,507,730	-	7,017,500	8,058,500	3,483,000	975,500	396,453,440
令和4年度	106,866,585	258,730,300	-	6,091,200	7,146,275	16,424,100	1,196,500	396,454,960
令和5年度	112,304,837	256,085,540	-	6,467,100	6,329,750	5,742,000	341,500	387,270,727

## 3 公害保健福祉事業・健康被害予防事業

公害健康被害認定患者等の健康を回復するとともに健康被害を予防するため、福祉・予防事業を次のとおり実施している。

### (1) 呼吸器健康講座（リハビリテーション）

公害健康被害認定患者等を対象に呼吸器健康講座を開催し、医師、管理栄養士、理学療法士等による知識普及及び療養上の指導を行っている。

	実施回数	参加延人数
令和元年度	4	75
令和2年度 ※1		
令和3年度 ※2	1	4
令和4年度	3	69
令和5年度	4	97

※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度の事業中止。

※2 令和3年度はオンライン形式にて実施。

### (2) 家庭における療養指導

保健師が公害健康被害認定患者の家庭を訪問して、保健指導・日常生活指導を行っている。

#### 家庭療養指導数

	1級	2級	3級	級外	合計
令和元年度	-	12	1	-	13
令和2年度 ※1	-			-	
令和3年度 ※2	1	2	-	-	3
令和4年度 ※3	2	17	-	-	19
令和5年度 ※4	1	15	-	-	16

※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度の事業中止。

※2 令和3年度は、国の通知に基づき、電話による指導2回を訪問指導1回とし実施。

※3 令和4年度は、国の通知に基づき、電話による指導1回を訪問指導1回とし5件、訪問指導を14件実施。

※4 令和5年度は、国の通知に基づき、電話による指導1回を訪問指導1回とし3件、訪問指導を13件実施。

(3) インフルエンザ予防接種費用助成事業

文京区で公害認定を受けている方を対象に、インフルエンザ予防接種費用の自己負担分を助成している。

	対象者人数	実施延人数
令和元年度	364	119
令和2年度	362	107
令和3年度	364	117
令和4年度	347	85
令和5年度	342	88

(4) ぜん息児水泳教室

4歳から小学3年生までのぜん息症状を有する児童を対象に水泳による呼吸機能訓練を行っている。

場 所：文京スポーツセンター

期 間：①前期 5月～6月 毎週水曜日（8日間）

②後期 9月～10月 毎週水曜日（8日間）

(参加延人数)

	前期	後期	合計
令和元年度	103	129	232
令和2年度 ※1			
令和3年度 ※1			
令和4年度 ※2	139	96	235
令和5年度	150	143	293

※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2・3年度の事業中止。

※2 令和2・3年度の事業中止に伴い、対象者を4歳から小学5年生までとして実施。

(5) アレルギー健康相談

15歳未満で小児ぜん息や湿疹等アレルギー症状のある乳幼児及び小児に対し、専門医の診察に基づき適切な生活指導・栄養指導を行い、発症予防及び健康の回復を図っている。

相談者数

	受診者	診察結果	
		要観察	終了
令和元年度	76	-	76
令和2年度	72	-	64
令和3年度	54	2	52
令和4年度	52	5	47
令和5年度	50	8	42
保健SC	26	-	26
本郷支所	24	8	16

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3～6月(保健SC)、3～9月(本郷支所)の事業中止。

また、令和4年度受診者数は、要医療者4名を含む。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年2～4月の事業中止。

(6) アレルギー講演会

アレルギー疾患への理解を深めるため、アレルギー疾患の方等を対象にアレルギーに関する講演会等を実施している。

	実施回数	参加延人数
令和元年度	2	26
令和2年度 ※1		
令和3年度 ※2	2	4
令和4年度	2	29
令和5年度	2	48

※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度の事業中止。

※2 令和3年度は1回をCATVでの放送及び文京区Youtubeチャンネルにて動画配信のため、参加人数等不明。1回はオンライン形式にて実施。参加延人数はオンライン実施分。

(7) ぜん息と慢性閉塞性肺疾患の予防等に関する講演会

疾患への理解を深めるために、区民を対象にぜん息や慢性閉塞性肺疾患の予防に関する講演会等を実施している。

	実施回数	参加延人数
令和元年度	1	36
令和2年度 ※1		
令和3年度 ※2	1	-
令和4年度	1	23
令和5年度	1	24

※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度の事業中止。

※2 令和3年度はCATV及びYouTube配信のため参加者不明。

(8) プール使用券の支給

健康回復・増進のために水泳訓練を希望する区内在住の公害健康被害認定患者及び小学生以上の大気汚染障害認定患者に対して年間一人50回の範囲で、区立体育施設のプール使用券を支給している。

	支給人数	使用回数
令和元年度	129	461
令和2年度 ※	67	363
令和3年度	55	218
令和4年度	51	274
令和5年度	66	274

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4・5月の事業中止。

#### 4 大気汚染健康障害者の認定

東京都は、「大気汚染に係る健康障害者に対する医療費の助成に関する条例」(昭和47年)に基づき、慢性気管支炎・気管支ぜん息・ぜん息性気管支炎・肺気しゅの患者に対し、医療費(自己負担分)の助成を行っている。

年齢18歳未満で都内居住歴1年以上(3歳未満は6か月以上)の者を対象としてきたが、平成20年8月より、気管支ぜん息に限り対象年齢が全年齢に拡大された。その後、平成27年4月より新規認定は年齢18歳未満都内居住歴1年以上(3歳未満は6か月以上)に限定された。

平成30年4月から、生年月日が平成9年4月1日以前の方は、保険診療の窓口支払額について、月額6,000円の自己負担が生じることとなった。

特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例により、申請受付、新規・更新審査等の事務を区で行っている。

	0～17歳	0～19歳	20～39歳	40～59歳	60～74歳	75歳以上	合計
令和元年度	24	24	124	415	229	188	980
令和2年度	13	13	103	378	233	182	909
令和3年度	11	11	79	353	241	185	869
令和4年度	14	14	67	314	221	189	805
令和5年度	9	9	45	297	201	185	737

※0～17歳は内数

※年度による内訳は各年度末現在の実年齢